

【平成 29 年 11 月】

＜健康づくり（介護予防）＞いきいき百歳体操大交流会を開催しました

11月14日（火曜日）午後1時から大崎市図書館（来楽里ホール）にて、いきいき百歳体操大交流会を開催しました。いきいき百歳体操は、地域住民が5人以上集まって集会所や地区公民館、自宅などの身近な所でDVDを見ながら弱くなりがちな筋肉を鍛える体操で、健康づくりと地域コミュニティづくりが話題を呼び、70団体の約1200人が取り組んでいます。

当日は体操に取り組んでいる約150人が集まり、DVDのモデルになっている大崎市民病院鳴子分院の理学療法士と三本木の中谷地行政区のみなさんと一緒に「いきいき百歳体操」を行い、健康に対する意識をお互いに高め合いました。



（問い合わせ）大崎市民生部高齢介護課 電話 0229 - 23 - 6085

＜医療と介護の連携＞市内の訪問看護ステーション管理者懇談会が始まりました

11月16日（木曜日）午後6時から大崎市医師会にて、市内の在宅医療を進めていくために、在宅医療の柱の一つである「訪問看護」を担う訪問看護ステーションの管理者が集まり、初めての懇談会が開始されました。

それぞれのステーションの取り組みを報告し合い、在宅医療を進めていくために必要なことなど、日頃の業務を通じ感じている課題などを話し合いました。

今後も顔の見える場をつくり、ステーション同士が連携していこうと、隔月で開催することが決まりました。

＜地域を支える仕組みづくり＞地域支援コーディネーター意見交換会を行いました

11月21日（火曜日）隔月行われている「地域支援コーディネーター（地域支え合い推進員）意見交換会」を午後1時30分から鳴子総合支所で行いました。

今回は事業の進捗状況について意見交換を行い、ワークショップで地域の声を吸い上げている鳴子温泉地域の取り組みや、吸い上げた地域の声を実現させるために若手中心に検討委員会を設けているという清滝地区、いきいき百歳体操に足を運んで地域の声を集めている池月地区、松山地域の報告があり、地域を支える仕組みづくりが前進している様子がうかがえました。



<医療と介護の連携> 医療と介護の関係者が在宅医療の市民啓発について話し合いを行いました

11月22日（水曜日）午後6時45分から大崎市図書館にて、平成29年度第2回地域包括ケアシステム推進懇談会を開催し、約40名の医療・介護関係者及び行政が参加して、大崎市における在宅医療・介護について話し合いました。

今回は、大崎市から事業の説明を行い、その後に「市民啓発をすすめるために」という内容で話し合いを行い、70以上の意見が出されました。今後は、在宅医療・介護についての市民の理解が深まるように各専門職の代表によるチームを作り、具体的な取り組みについて話し合いを行っていくことが決まりました。



その他の主な取り組み

<医療と介護の連携>

11月15日（水曜日）大崎市民病院鹿島台分院主催の「地域包括ケアシステム」に関する勉強会にて、大崎市在宅医療・介護連携支援センター長が「地域包括ケアシステムにおける医療職の役割について」講話

<地域ケア会議の推進・医療と介護の連携>

11月17日（金曜日）鳴子保健・医療・福祉総合センターで開催された玉造地域包括支援センター主催の玉造地域ケア会議にて、大崎市在宅医療・介護連携支援センター長が在宅医療について講話

<地域ケア会議の推進>

11月21日（火曜日）午後4時から平成29年度第6回大崎市自立支援型地域ケア会議を開催

<地域ケア会議の推進・医療と介護の連携>

11月22日（水曜日）岩出山地域福祉センターで開催された玉造地域包括支援センター主催の玉造地域ケア会議にて、大崎市在宅医療・介護連携支援センターの相談員が在宅医療について講話